

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	神奈川県
( <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> )	

・学校の概要

川崎市立東門前小学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	21
児童数	48	52	44	55	51	47	2	299	

・実践研究の概要

1. 研究主題

「主体的な活動を支える学力の育成」  
～一人一人の確かな学力を培う指導と評価～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

全学年・算数科  
昨年からの研究の継続を図り、学力の育成や少人数指導などの指導体制の工夫の実践に向いていると考えたため。  
〔本校の研究は、学力は授業だけで育つものではないと考えているので、教育課程全般でいろいろな実践に取り組んでいる。〕

(2) 年次ごとの計画

平成 14 年 度	<p>テーマ 「主体的な活動を支える学力の育成」 ～一人一人の確かな学力を培う指導と評価～</p> <p>仮説 子どもの実態を適切に評価し、個々の子どもにあった指導を考え、教育課程や学習過程を工夫することによって、一人一人の確かな学力を培い、主体的な活動を行う力が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力と評価についての研修</li> <li>・子どもの学力の評価を生かした指導の改善(算数科、国語科、生活科、総合的な学習の時間の授業研究を通して)</li> <li>・個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫</li> <li>・個に応じた指導のための教材開発</li> <li>・かかわりを重視した主体的な活動ができる力の育成</li> </ul> <p>研究方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業においては、評価計画を立て、子どもの実態を把握し、個々の子どもに対応した学習過程を創造する。</li> </ul>
--------------------	---

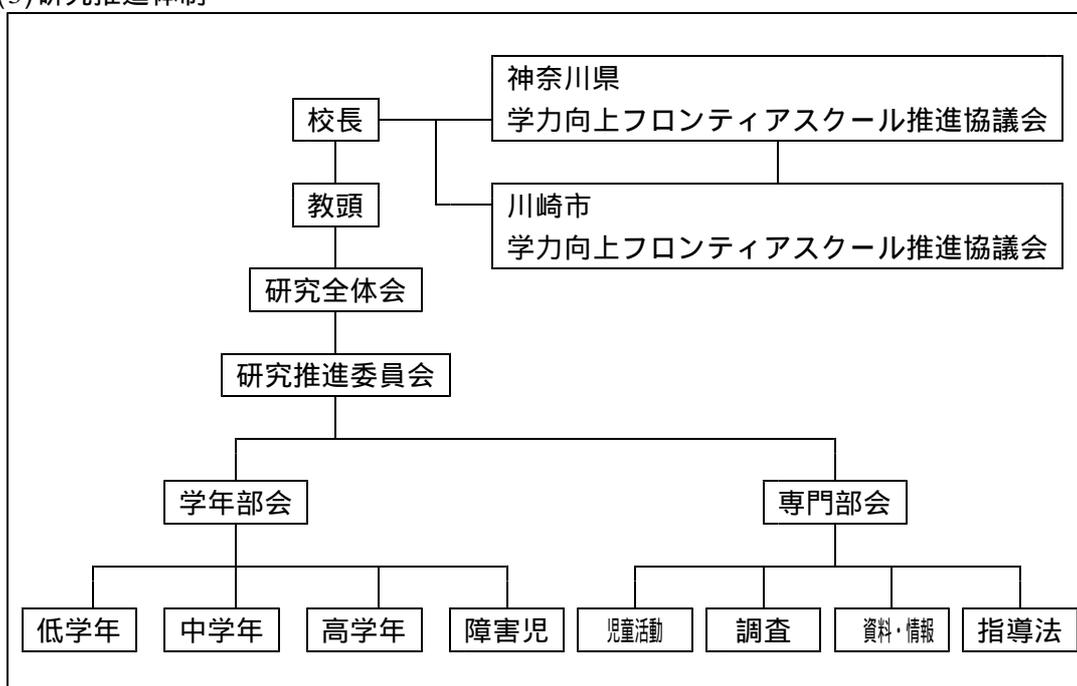
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価力を育て、自ら学び、自ら考える力を育てる。</li> <li>・子どもの実態を把握し、必要と考えられる基礎的・基本的な学習の時間を確保する。</li> <li>・かかわりを大切に、主体的に活動する場を設けることで、子どもの主体的な活動や創造的な活動の力を育てる。</li> </ul>
--	--

平成 15 年度	<p>テーマ 「主体的な活動を支える学力の育成」 ～一人一人の確かな学力を培う指導と評価～</p> <p>仮説 子どもの実態を適切に評価し、個々の子どもにあった指導を考え、教育課程や学習過程を工夫することによって、一人一人の確かな学力を培い、主体的な活動を行う力が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学力の評価を生かした指導の改善（算数科の授業研究を通して）</li> <li>・個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫</li> <li>・個に応じた指導のための教材開発</li> <li>・かかわりを重視した主体的な活動ができる力の育成</li> </ul> <p>研究方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業においては、評価計画を立て、子どもの実態を把握し、個々の子どもに対応した学習過程を創造する。</li> <li>・自己評価力を育て、自ら学び、自ら考える力を育てる。</li> <li>・子どもの実態を把握し、必要と考えられる基礎的・基本的な学習の時間を確保する。</li> <li>・かかわりを大切に、主体的に活動する場を設けることで、子どもの主体的な活動や創造的な活動の力を育てる。</li> </ul> <p>* 教科を算数科に絞り、より研究を深めることとした。</p>
----------------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 「主体的な活動を支える学力の育成」 ～一人一人の確かな学力を培う指導と評価～</p> <p>仮説 子どもの実態を適切に評価し、個々の子どもにあった指導を考え、教育課程や学習過程を工夫することによって、一人一人の確かな学力を培い、主体的な活動を行う力が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学力の評価を生かした指導の改善（算数科の授業研究を通して）</li> <li>・個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫</li> </ul>
----------------	--

- ・個に応じた指導のための教材開発
  - ・かかわりを重視した主体的な活動ができる力の育成
- 研究方法
- ・授業においては、評価計画を立て、子どもの実態を把握し、個々の子どもに対応した学習過程を創造する。
  - ・自己評価力を育て、自ら学び、自ら考える力を育てる。
  - ・子どもの実態を把握し、必要と考えられる基礎的・基本的な学習の時間を確保する。
  - ・かかわりを大切に、主体的に活動する場を設けることで、子どもの主体的な活動や創造的な活動の力を育てる。

### (3)研究推進体制



### ・平成15年度の成果及び今後の課題

#### 1. 研究の成果

- \* 学習意識調査において、「算数が好き」と答えた子が2年続けて6割近くに達している。また、「算数が好きでない」という子が昨年に比べ減少し1割を切る状態となった。さらに、「算数の学習内容がわかっている」と答えた子が昨年より微増だが8割近くに達してきた。この結果は、一人一人にあった学習過程の創造を行った成果であると考えている。
- \* 昨年度公開研究会のおりにいただいた理論と実践とが結びついていないのではないかというご意見を受け、本年度は実践研究に力を入れてきた。特に、育てたい学力を明らかにし、その学力を育てるためにどのような学習過程、指導形態をとったらよいか、視点を絞って研究を進めてきた。  
単元ごとに、学習過程、指導形態を変えることは大変なことであるが、教師の

教材研究を進める力、子どもたちの実態を把握しようとする態度、共通理解を図ろうとする姿勢など、教師の意識が変わってきたことは大きな成果である。

- \* 知識・技能面を育てるために行っているもんぜんタイムでは、各学年の年間目標を明らかにし、6年間で育てたい力を明らかにすることができた。
- \* ひがもん会議などの話し合いが活発になり、自分たちの問題を自分たちで解決しようとする行動していく主体的な活動が多く見られるようになってきた。

## 2. 今後の課題

- \* 育てたい学力を培うために学習過程を創造しているが、必ずしも効果的であったとは言えない場合もある。そうした例をより効果的な学習過程にするために、いっそう子どもの学力の実態把握、教材研究を進めなければならないと考えている。
- \* 学習状況調査を行ったが、本校独自のものであり、また今年度4月の実施のみで比較することができない。これから全国規模の学習状況調査などを行い、客観的に本校の子どもたちの学力をとらえていきたい。
- \* 4月の算数科の学習状況調査において、思考・判断の力が弱いことがわかった。そこで、学力の中でも思考・判断の力の育成に努めてきたが、学習状況調査などで成果のとらえを進めていかなければならない。
- \* 子ども自身が自分の力をとらえられることが大切なことと考え、自己評価力の向上をねらっているいろいろな試みを行っているが、まだまだ研究の必要があることを感じている。

## . 学力把握のための学校の取組について

- \* 学習意識調査 ・子どもたちの学習に対する意識を調査する ・12月実施
- \* 学習状況調査（国語、算数）  
・昨年度の学習状況をとらえる ・本校で制作した問題 ・4月実施

## . フロンティアスクールとしての成果の普及について

- \* 公開研究会  
・日時 平成16年2月6日（金） ・場所 川崎市立東門前小学校  
・対象 オープン ・学力向上フロンティアスクールとしての中間発表
- \* HP  
・本校のホームページにおいて研究公開のページを設け、本年度の研究授業や研修の内容について公開をしている。  
(<http://home.keins.city.kawasaki.jp/2/KE200301>)
- \* フロンティアティーチャー  
・「教育セミナー2003」において研究報告  
・神奈川県指導主事会議において研究報告

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- |                      |   |  |  |    |
|----------------------|---|--|--|----|
| 【新規校・継続校】            | 15年度からの新規校                                  | <input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校 |  |    |
| 【学校規模】               | 6学級以下                                       | 7～12学級   |  |    |
|                      | <input checked="" type="checkbox"/> 13～18学級 | 19～24学級  |  |    |
|                      | 25学級以上                                      |  |  |    |
| 【指導体制】               | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導   | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導   |  |    |
|                      | <input checked="" type="checkbox"/> 一部教科担任制 | その他  |  |    |
| 【研究教科】               | 国語  | 社会   | <input checked="" type="checkbox"/> 算数 | 理科 |
|                      | 生活  | 音楽   | 図画工作                                   | 家庭 |
|                      | 体育  | その他  |  |    |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 |   | <input checked="" type="checkbox"/> 有          | 無                                      |    |